



青い鳥

第13号

発行 園部町ボランティア連絡協議会
南丹市社会福祉協議会園部支所

園部町ボランティア連絡協議会総会が開催されました



平成25年6月14日(金)に園部町ボランティア連絡協議会総会が開催されました。平成25年度、園部町ボランティア協議会の総会が市役所、民生委員、社協よりの来賓と多くの会員さんの出席のもと、盛大に開催されました。平成25年度すべての議案が満場一致で承認されました。その後、サークル「ル・スヴニー」のゴスペルコーラスと南丹亭百笑さんの落語を聞き、最後に各サークルの活動発表と各自の健康を誓い合い、盛会の内に終了しました。

新サークル紹介

こんにちは、ル・スヴニーです。

私たちは、子育て真最中のママ達で結成しているゴスペルコーラスグループです。

小さな子供たちのパワーをもらいながら、月に4回練習をしています。

ル・スヴニーとは聞き慣れない言葉だと思いますが、フランス語で「思い出」という意味を持ちます。

皆さん的心に残る歌声をお届けできる様に日々頑張っています。ゴスペルというジャンルにこだわらず、クリスマスソングや「上を向いて歩こう」「ハナミズキ」「花は咲く」などもレパートリーに加え、これからも皆さんに喜んで頂けるステージを作りたいと思っています。

河本 千夏



みなさん、こんにちは！園部吹奏楽団です。

1975年に南丹市に誕生して、今年で38年目になりました。

地域や施設等での依頼演奏や年に一回の定期演奏会やアンサンブルコンサート、そして吹奏楽コンクールに出場する等、積極的に活動しています。

毎週水・日曜日に園部公民館で練習をしています。メンバーは口丹地域を中心に集まり、幅広い年齢層です。「楽しくなければ音楽じゃない。」をモットーに、皆様に楽しんでもらえるステージを目指し、楽しく演奏をしています。今年度からボランティア連絡協議会に登録することになり、地域のみなさんと、より深い交流が出来ればよいなと思っています。

3月9日には園部公民館大ホールで定期演奏会も開催するので、ぜひ遊びにきてください！！よろしくお願ひします。

団長 野々口二三男



「人と防災未来センター」へ行ってきました。

視察研修に参加して

西安 満子



視察研修に参加して

広瀬エミ子

かわせみボランティアサークルの一員として今回初めて視察研修に参加させていただきました。園部を出発して一路神戸へと向かいました。街中へ入ると整備されたきれいな街並みを見てびっくりし、ここがあの大震災を受けた同じ場所なのかと目をみはるばかり。最初の見学場所「人と防災未来センター」へ到着し建物の中に入ると大きい掛け時計が午前5時46分を指したまま止まっており、それはあの恐ろしい事態が起きた時刻そのものでした。会場の正面には大きなスクリーンがあり、その横には「途中で気分の悪くなった人は出てください」と書いてあり「なぜ？」と思ったのですが、スクリーンに映像が映し出されるとその意味が分かりました。それはすさまじい地震によって壊されていく民家、橋、電柱、車、ビルが跡形もなく大きな音とともに壊されていく様子が映し出され、私も胸がキューンとし、又崩れて倒壊した民家の一部がそのまま残されているのを見て身につきました。ここ迄この町が復興できたのは、地元の方々の復興への熱い思いと努力、多くのボランティアの方々の大きな力があったのだと思います。昨年、園部町も台風18号による水害に見舞われましたが、その時も多くのボランティアの方々にお世話になりました。今回の研修で得たボランティアの底力から、助け合いの心を学び、そしてこのすさまじいスライドをぜひ孫たちにも見せたく思いました。



人と防災未来センターにて



被災された「津の鶴」酒造にて

編集後記

総会に始まり、ボラ連の視察研修、ボランティア交流会、夏休みボランティア体験や各区の敬老会行事等、会員の皆様一年間大変ご苦労さまでした。

園部町ボラ連に新会員も増えました。今後、皆様と共に市民の方々のお役に立ちたいと思います。一緒に頑張りましょう。



みんなあいですよ！

夏休みボランティア体験



園部町内には、たくさんのボランティア活動をされているグループがあります。

これは、ボランティアさんたちが、自分たちの活動をみなさんに知ってもらって・体験してもらう企画！

私たちは、体験を通して子供たちに福祉の心が育っていくことを願っています。

受付



要約筆記体験



アイマスク体験



手芸体験



マジック体験



オカリナ体験



車いす体験



点字体験



おにぎり作り体験



はとポッポ



ボランティア連絡協議会に加入して

『笑門来福？』～南丹亭百笑～



昨年、当会に入会させていただき、地域の敬老会や各種団体で「落語」を演じています。未熟な素人芸ですが、温かい拍手と元気な笑顔、大きな？笑い声に支えられて、♪チャカチャンリン♪「毎度バカバカしいお笑いを…」笑いは健康にも良いそうで、笑うことにより自然治癒力や免疫力が高まり、ストレス解消やがん細胞破壊、リウマチ、糖尿病などにも効果があると言われています。又、落語は、聞く人が自分の頭の中で話の場面を思い浮かべながら楽しむ想像の芸なので、頭脳を活性化させ、認知症予防にも効果があるようです。ということで「落語は体の万能薬」なのですが、これは上手な名人の落語を聞いた時の話。私の場合は、かえってストレスを与えていたかも知れませんが、そこは、お客様の方で気遣っていただき、愛想や作り笑いででも、無理矢理笑ってもらっています。まあ、そういう笑いでも、効用はあるようですので、ご勘弁願います。

歳と共に物覚えが悪くなり、なかなか持ちネタが増えませんが、自分のボケ防止も兼ね、精進あるのみ。今後も、落語を通じて、多くの方々との出逢いを楽しみにしています。
「エ～、末永くおつきあいのほど…。」

中西 博美

ありがとう・感謝 クレージーモンキーズ

還暦を過ぎてから、同級生三人でサックスを吹こうという事になった。
土曜日の午後に集まって練習を始めた。

共通の趣味を通じて仲間が集まることは、それだけで楽しい時間である。毎週の土曜日が待ち遠しい。三人とも、サックスは初めてで、楽譜もろくに読めなかつたが、教材本などをたよりに、お互いに教え教えながら、少しづつ吹けるようになった。

初めて人前で演奏したのはクラス会の舞台であった。演奏の後、拍手がおこり、チリ紙にくるんでいた「おひねり」が飛んできた。たぶん、聞くにたえないモノであったらうが、クラスメイトというものはつくづくありがたいものだなと実感した。それ以降、施設での演奏を依頼されると出向くようになった。そんな訳で、僕らの演奏は、聞いてくれる人に満足を与えられるようなものでは決してないが、僕らが楽しんでいるのは確かである。

こんなことで、ボランティアができているとは思わないが、お年寄りの施設などで演奏していると楽しそうに喜んで聞いていただいているのがこちらに伝わってくる。演奏が終わると「よかったわ。また来てや。」と言ってもらえるのが、これがまた嬉しくて、帰り際には、頑張って練習して次はもうちょっと上手に吹けるようにと思うのである。

歳が歳だけに、思うようにうまくならないが息の続く限り、続けていきたいと願っている。

山本孚彦

南丹市ボランティア交流会

南丹市ボランティア交流会に参加して



11月16日（土）南丹市国際交流会館で、第7回南丹市ボランティア交流会が開催されました。今年度は、落語家の桂福点さんをお招きし、視覚障がい者としての自らの体験談、音楽や落語を通して出会った多くの人のつながりの話し等をしていただき会場は、笑いと感動で包まれました。

ホール入口では、パネルの作品展示もあり約100人位の会員が参加して有意義に半日を過ごしました。